



川俣小学校「学校だより」

# 輝くひとみ

令和3年1月22日(金) 第39号

教育目標  
☆すすんで学ぶ子ども  
☆思いやりのある子ども  
☆ねばり強い子ども  
☆たくましい子ども

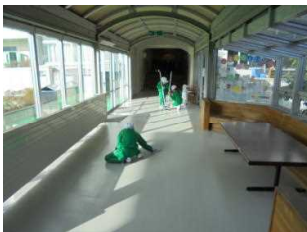
発行者 校長 本名 武



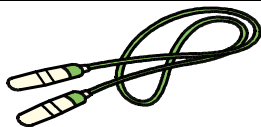
## 上級生を見習って



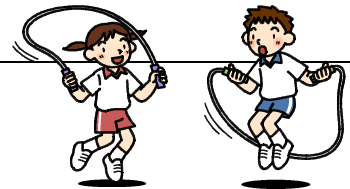
本校では縦割り班による清掃活動を行っています。どの班も無言で清掃に取り組んでいます。もちろん、ちりやほこりを吸い込まないこともありますが、自分の作業等に集中して時間内によりきれいに仕上げることをできるようにどの班も黙々と取り組んでいます。中には、あまり来たことのない清掃場所に来て掲示物等に目を奪われる子もありますが、6年の班長さんがやさしく諭してくれます。班長さんも静かに指示を出しながら黙々と清掃を進めます。自分の後ろ姿で、このように清掃を進めるのです



よと教えてくれます。この班長さんの率先垂範の姿を見て、下級生もその姿とその精神を見習っていきます。1年生も5年後にはそのような姿を下級生に見せることになります。清掃ひとつにしても、代々受け継がれてきた川俣小の素晴らしい伝統を再認識できます。6年生はあと2ヵ月、自分自身と川俣小の伝統にさらに最後の磨きをかけてくれることと思います。



## 得意な技になる日



この時期、体育科の授業や業間休みなどに、なわとび運動が盛んに行われています。今できる跳び方に磨きをかけている子もいれば、まだできない種目跳びに熱心に取り組んでいる子もいます。憧れの技を難なくこなす上級生の跳ぶ姿を目を皿のようにして、憧れの視線を送っている子もいます。なわとびをしている子の近くを通るとき、「見ててください!」「教えてください!」と言われることがあります。見れば、この前まで「おいしい!」と言われたまだできなかった二重跳びの披露でした。子どもにとって、まだできなかった「憧れの技」は、



強い思いと熱心な練習で、誰かに見てもらいたい「得意な技」になるということを教えられました。二重あや跳び（はやぶさ）や二重交差跳び（ゼロセン）、サイドクロスに三重跳び・・・憧れの技がいつかそれぞれの得意な技になる日がやってきますように。